

第 162 回山行記 石割山(1413m)2021/12/20



2021年12月20日(月)、今年最後の山行として、山梨県の石割山と平尾山に登りました。参加者は13名(女性5名、男性8名)。二つの山頂から、雲一つない快晴の下、眼前に富士山、山中湖、さらには南アルプスの遠望を楽しむことができました。また、石割山の8合目付近にある石割神社ではご神体の大岩の隙目を皆で周回しました。終日風もなく比較的暖かく、穏やかな初冬の山歩きを満喫できました。

<行程>

谷津船橋 IC5:50=談合坂 SA7:10 着(休憩 20分)=山中湖 IC8:00=石割山登山口駐車場 8:22 着 8:38 発—石割神社奥社 9:30 着 9:41 発—石割山 10:23 着 10:33 発—平尾山 11:21 着 昼食 12:03 発—石割神社前社 13:20 着=石割の湯 13:30 着入浴 14:40 発=談合坂 SA15:30 着(休憩 15分)=谷津船橋 IC17:45

13名の参加者を乗せたマイクロバスは、谷津船橋 IC(5:50)から東関道、首都高、中央道、東富士五湖道路を通り、山中湖 IC で一般道に入りました。途中、談合坂 SA で休憩をはさみながら、渋滞にも一切遭わず、快適そのもの。石割山登山口に到着(8:22)後、トイレ(駐車場にあり)、準備体操を済ませ、出発(8:38)しました。



今回リーダーのSさんを先頭に赤い鳥居をくぐると、いきなりの長〜い石段。登りの石段がずっと奥まで見えます。403段あるとのこと、歩き始めの石段続きはかなりこたえます。ようやく登り切った所が富士見平。あずまやがありました。ここからは普通の山道で、しばらく登ると石割神社(奥社)に到着。ここは石割山への8合目付近。まずはカツラ(桂)の大きなご神木がお出迎え。黄葉すると甘い香りが漂うとSEさんの説明。社のそばにははるかに見上げる大岩。しめ縄がかけられているご神体です。この大岩の隙間をすりぬ

けて、大岩と社の周囲を三度回ると願い事が叶うとのこと。この隙間はとても狭く、空身でかつための人はお腹を引っ込めないと通れないほど。今回のメンバーは皆さん問題なく通り抜けていました(たぶん)。



神社から急坂が続き、足と体を大きく持ち上げなければならない箇所が所々にありました。途中で、富士山や山中湖が樹間から姿を見せ、頂上からの展望にいやがうえにも期待が膨らみました。登山口から2時間弱で石割山の山頂(標高1413m)に到着(10:23)。真正面に富士山がドーンと予想以上の迫力で雄姿を見せてくれました。雲一つない青空の下で真っ白な雪に覆われた富士山、眼下には青々とした山中湖、そして右遠方には雪を被

った南アルプス(甲斐駒、北岳から荒川三山まで)を望むことができました。

石割山山頂で休憩し雄大な眺望を満喫した後は、急な下り。斜面には霜柱が至る所に。7~8cmほどの丈がある立派な霜柱です。それだけ滑りやすいため、慎重に下降。途中、赤い実をつけたトゲのある木が目につきましたが、フジイバラ(富士薔薇)という木でしょうか?急坂の後は、平坦な尾根道となり、東海道遊歩道分岐を経て平尾山に到着(11:21)。標高は1290m。広々とした山頂で、枯草に覆われている場所でゆっくり昼食。ここからの富士山をはじめとした眺望も素晴らしかったです。





想定よりも全体的に 20 分程度遅れていたこともあり、大平山には足を伸ばさず、平尾山山頂 (12:03 発) から東海自然歩道分岐に戻りそこから下りました。しっかりした下り道をたどり、石割神社 (前社) に到着 (13:20)。ここからバスに乗車し、石割の湯へ。アルカリ性の泉質の心地よい温泉で体を温めた後、喉を潤しました (少しだけ)。石割の湯から (14:40 出発) は、行きに通った高速道をバスで戻って無事帰着しました (谷津船橋

IC17:45)。途中、深大寺高速バス停辺りから少し渋滞しましたが概ね順調でした。

M.Y 記